

1. 等式と方程式

基本ワーク

1 例題 方程式とその解

-1, 0, 1, 2の中から, 次の方程式の解となっているものを選び出せ。

(1) $3x+2=5x$ (2) $4x-3=2x+1$

考え方 それぞれの式に -1, 0, 1, 2 を代入して, 等式が成り立つものが解である。

2 1, 2, 3, 4の中から, 次の方程式の解となっているものを選び出せ。

(1) $-2x=-4$
 (2) $3x+1=4$
 (3) $2x=3x-4$
 (4) $x+2=2x-1$

3 例題 等式の性質と方程式

次の上の等式から下の等式を導くのに, 等式のどのような性質を使ったか, 説明せよ。

(1) $4x=12$ (2) $x+2=-3$
 $x=3$ $x=-5$

考え方 (1) $4x=12 \rightarrow 4x \div 4 = 12 \div 4 \rightarrow x=3$
 (2) $x+2=-3 \rightarrow x+2-2=-3-2 \rightarrow x=-5$

4 次の上の等式から下の等式を導くのに, 等式のどのような性質を使ったか, 説明せよ。

(1) $x-1=5$ (2) $\frac{x}{3}=-4$
 $x=6$ $x=-12$
 (3) $-2x=6$ (4) $x+5=2$
 $x=-3$ $x=-3$

ポイント

- 等式……数量の間の関係を等号を使って表した式を等式という。等号の左の部分を左辺, 右の部分を右辺, 左辺と右辺をまとめて両辺という。

例 $\begin{array}{ccc} \lrcorner & \text{左辺} & \lrcorner \\ \text{等式} \cdots \cdots & 2x+1=3y+3 & \\ \lrcorner & \text{右辺} & \lrcorner \\ & \lrcorner & \lrcorner \\ & \text{両辺} & \lrcorner \end{array}$

- 方程式……式の中の文字に特別な数を代入すると成り立つ等式を方程式という。
- 方程式の解……代入すると方程式が成り立つような数を方程式の解という。

例 方程式 $3x-4=2$ の解は, $x=2$

注 $2x+3x=5x$ は, x がどのような値のときも成り立つので, 方程式とはいわない。

ポイント

- 等式の性質

$A=B$ ならば,

- ① $A+C=B+C$
- ② $A-C=B-C$
- ③ $AC=BC$
- ④ $\frac{A}{C}=\frac{B}{C}$ ($C \neq 0$)
- ⑤ $B=A$

基本ワーク

9 例題 方程式の解き方③

次の方程式を解け。

(1) $x=4x-9$ (2) $3x+4=x+10$

考え方 x の項を左辺に、数の項を右辺に移項して $ax=b$ の形に整理する。

10 次の方程式を解け。

(1) $3x+8=2$ (2) $5x-1=9$

(3) $x-21=4x$ (4) $7-6x=x$

(5) $3x+4=x+10$ (6) $7x-10=3x+6$

(7) $2x-9=3x+4$ (8) $5x+4=10-3x$

(9) $-x+9=5x-15$ (10) $7x-12=-5x-6$

11 例題 方程式の解き方④

次の方程式を解け。

(1) $6x-(x-8)=18$ (2) $2(x+1)=3(x-1)$

考え方 まず、かっこをはずし、同類項を整理する。

12 次の方程式を解け。

(1) $4x+(x+4)=24$ (2) $x+(-4x+6)=6$

(3) $2x-(5x-8)=-4$ (4) $3-(2x-2)=-15$

(5) $4x-(2x-4)=9x-10$ (6) $5x-(9x+2)=4-x$

13 次の方程式を解け。

(1) $3(x+5)+x=31$ (2) $4-x=4(x+1)$

(3) $5+2(x-1)=x+1$ (4) $7x-4(3x+5)=10$

(5) $3(x-4)=2(x-2)$ (6) $4(x+1)-3(2x-6)=0$

ポイント

● $ax+b=px+q$ の形の方程式 x の項を左辺に、数の項を右辺に移項して $ax=b$ の形に整理し、両辺を x の係数 a でわる。

例 $3x+1=x-5$ } 移項する
 $3x-x=-5-1$ } 整理する
 $2x=-6$ } 両辺を x の
 $x=-3$ } 係数でわる

ポイント

● カッコのある方程式

かっこをはずし、同類項を整理して、あとは⑨、⑩と同じ手順で解く。

例 $2x-3(x+5)=x-1$
 かっこをはずす ↓
 $2x-3x-15=x-1$
 同類項をまとめる ↓
 $-x-15=x-1$
 移項する ↓
 $-x-x=-1+15$
 整理する ↓
 $-2x=14$
 両辺を -2 でわる ↓
 $x=-7$

基本ワーク

14 例題 方程式の解き方⑤

次の方程式を解け。

$$(1) 0.3x + 0.2 = 0.1x - 1 \quad (2) \frac{1}{2}x - 1 = \frac{1}{3}x + 1$$

【考え方】 (1) 両辺を10倍して、 $3x + 2 = x - 10$

(2) 両辺を6倍して、 $3x - 6 = 2x + 6$

15 次の方程式を解け。

$$(1) 0.4x + 0.7 = 0.2x - 0.1$$

$$(2) 0.76x + 1 = x + 0.28$$

16 次の方程式を解け。

$$(1) \frac{1}{2}x + 3 = \frac{1}{5}x + 6$$

$$(2) \frac{x-3}{2} = \frac{x+1}{3}$$

17 例題 解と方程式

x についての方程式 $3x + 2a = 4x - 5$ の解が $x = 7$ であるとき、 a の値を求めよ。

【考え方】 解を代入すると、

$$3 \times 7 + 2a = 4 \times 7 - 5, \quad 21 + 2a = 28 - 5$$

18 次の各問いに答えよ。

(1) x についての方程式 $3x - a = 2x + 1$ の解が $x = 5$ であるとき、 a の値を求めよ。

(2) x についての方程式 $3x + 3a = 4ax - 9$ の解が $x = 3$ であるとき、 a の値を求めよ。

(3) $4x + 25 = 3(p - 2x)$ は、 x の値が -4 のときに成り立つという。 p の値を求めよ。

ポイント

● 係数が小数、分数の方程式

係数が小数の方程式は、両辺を10倍、100倍、…して、係数を整数にしてから解く。

例 $0.6x + 3 = 0.4x$
 $0.6x \times 10 + 3 \times 10 = 0.4x \times 10$
 $6x + 30 = 4x$

● 係数が分数の方程式は、分母の最小公倍数を両辺にかけて、係数を整数にしてから解く。

例 $\frac{x}{4} - \frac{5}{2} = \frac{x}{3}$
 $\frac{x}{4} \times 12 - \frac{5}{2} \times 12 = \frac{x}{3} \times 12$
 $3x - 30 = 4x$

ポイント

● 解と方程式

解が与えられている方程式では、方程式に解を代入して、わからない文字の方程式とみて解けばよい。

例 $2x + a = ax - 4$ の解が $x = 2$ であるときの a の値を求める。

$x = 2$ を代入して、
 $2 \times 2 + a = a \times 2 - 4$
 $4 + a = 2a - 4$
 $a - 2a = -4 - 4$
 $-a = -8$
 $a = 8$

3. 方程式の利用 (1)

基本ワーク

19 例題 数に関する問題

次の各問いに答えよ。

- (1) ある数 x の3倍に1を加えると19になる。ある数を求めよ。
- (2) 十の位の数字が4、一の位の数字が x の2けたの整数がある。十の位と一の位の数字を入れかえると、もとの数より27大きくなる時、もとの整数を求めよ。

考え方 (1) 方程式は、 $3x+1=19$

(2) もとの整数は $40+x$ 、十と一の位を入れかえた数は $10x+4$ と表せる。

20 次の各問いに答えよ。

- (1) ある数 x を3でわって5をひくと4になる。ある数を求めよ。
- (2) 十の位の数字が x 、一の位の数字が2の2けたの整数がある。十の位と一の位の数字を入れかえると、もとの数より27小さくなる時、もとの整数を求めよ。

21 例題 代金と個数に関する問題

りんごを4個と350円のメロンを1個買って、1000円札を出したら、おつりが170円あった。りんご1個の値段はいくらか。

考え方 りんごの値段を x 円とすると、 $1000-(4x+350)=170$

22 次の各問いに答えよ。

- (1) サインペンを3本と80円のボールペンを1本買って500円玉を出すと、60円のおつりがあった。サインペンの値段はいくらか。
- (2) 50円切手と80円切手を合わせて20枚買った時、代金が1450円であった。50円切手は何枚買ったか。

ポイント

● 数に関する問題

数に関する問題でよく使われる関係式

- ① 十の位が a 、一の位が b の整数…… $10a+b$
- ② 連続する3つの整数……ま
ん中の数を x として、
 $x-1, x, x+1$
- ③ 整数のわり算……整数 x を
 a でわると、商が b で余りが
 c であるとき、 $x=ab+c$

ポイント

● 代金と個数に関する問題

代金と個数に関する問題でよく使われる関係式

- ① 代金=単価×個数
- ② おつり=出した金額-代金

- 22(2)で、50円切手を x 枚買ったとすると、80円切手は $(20-x)$ 枚買ったことになる。

基本ワーク

23 例題 やりとりに関する問題

A君は18本、B君は10本の鉛筆を持っている。A君がB君に何本あげれば、2人の鉛筆の本数は同じになるか。

考え方 x 本あげるとすると、A君は $18-x$ (本)、B君は $10+x$ (本)

24 次の各問いに答えよ。

- (1) Aの箱にはビー玉が48個、Bの箱にはビー玉が32個入っている。Aの箱からBの箱へ、ビー玉を何個移すと、両方の箱のビー玉が同数になるか。
- (2) 兄は弟の3倍の小づかいを持っている。兄が弟に500円あげると、兄の小づかいは弟の2倍になるといふ。兄はいくら持っているか。

25 例題 過不足に関する問題

クラスで本を買うことになり、お金を集めることにした。1人から30円ずつ集めると180円余り、20円ずつ集めると60円不足するという。クラスの人数は何人か。

考え方 クラスの人数を x 人として、本の値段について立式する。30円ずつ集めると180円余るから、本の値段は、 $(30x-180)$ 円。20円ずつ集めると60円不足するから、本の値段は $(20x+60)$ 円と2通りに表される。

26 次の各問いに答えよ。

- (1) 画用紙を生徒に配るのに、1人5枚ずつにすると10枚足りなくなるので、1人4枚ずつ配ったら32枚余った。生徒の人数を求めよ。
- (2) 体育館に生徒を入れて、長いす1脚に5人ずつすわらせると30人余り、6人ずつすわらせるとちょうど2脚余った。このとき、長いすの数と生徒の人数を求めよ。

ポイント

● やりとりに関する問題

何を x で表すか決め、問題から等しい関係にある数量を見つけ、それを x で表して方程式をつくる。

● 24の(2)で、弟の持っている小づかいを x 円とした方が立式しやすい。

弟を x 円とすると、兄は $3x$ 円となる。

ポイント

● 過不足に関する問題

1つの数量を2通りに表しているところに着目する。

● 26(1)……生徒の人数を x 人として、画用紙の枚数を2通りに表す。● 26(2)……長いすの数を x 脚として、生徒の人数を2通りに表す。

基本ワーク

27 例題 年齢に関する問題

現在母は42歳，子供は14歳である。母の年齢が子供の年齢の2倍になるのは，今から何年後か。

考え方 2人とも1年に1歳ずつ年をとる。 x 年後とすると，母は $(42+x)$ 歳，子供は $(14+x)$ 歳となる。

28 次の各問いに答えよ。

- (1) 現在祖母は61歳，孫は13歳である。祖母の年齢が孫の年齢の3倍になるのは，今から何年後か。
- (2) 現在母は40歳で，長男は17歳，次男は12歳である。2人の子供の年齢の和が母の年齢に等しくなるのは，今から何年後か。

29 例題 平均に関する問題

A, B, C 3人の体重の平均は40 kgである。もう1人Dが加わると，4人の体重の平均は41 kgになるという。Dの体重は何 kg か。

考え方 Dの体重を x kgとして，体重の合計についての方程式をつくる。

30 次の各問いに答えよ。

- (1) A, B, C 3個の小包の平均の重さは1.3 kgで，もう1個Dを加えた4個の小包の平均の重さはA, B, Cの3個の平均値より0.1 kg重い。このとき，Dの重さを求めよ。
- (2) 40人のクラスで数学のテストの平均点を調べたら，男子の平均点は74.5点，女子の平均点は68.5点，クラス全体の平均点は71.2点であった。このとき，このクラスの男子生徒の人数を求めよ。

ポイント

● 年齢に関する問題

1人ずつが1年に1歳ずつ年をとることに注目する。

- 28(2)で， x 年後とすると， x 年後の母の年齢は， $(40+x)$ 歳
 x 年後の2人の子供の年齢の和は， $\{(17+x) + (12+x)\}$ 歳

ポイント

● 平均に関する問題

$$\text{平均} = \frac{\text{各数量の和}}{\text{総個数}}$$

- 29で，A, B, C 3人の体重の合計は (40×3) kg
A, B, C, D 4人の体重の合計は (41×4) kg

- 30(2)で，男子生徒の人数を x 人とすると，女子生徒の人数は $(40-x)$ 人となる。

全体の平均点

$$= \frac{\text{男子の点数の和} + \text{女子の点数の和}}{\text{クラス全体の人数}}$$

3. 方程式の利用 (2)

基本ワーク

31 例題 速さに関する問題

次の各問いに答えよ。

- (1) 自宅から、おじの家まで毎時 4 km の速さで歩いたが、途中で A 君の家へ 30 分立ち寄ったので、家を出てからおじの家に着くまで 2 時間かかった。自宅からおじの家までは何 km あるか。
- (2) 家から 4 km 離れた学校へ行くのに、はじめは毎分 70 m の速さで歩いていたが、途中から毎分 90 m の速さに変えたら、合計で 50 分かかった。家から速さを変えた地点までの距離を求めよ。

考え方 (1) 自宅からおじの家までを x km とすると、A 君の家に立ち寄らなければ $\frac{x}{4}$ 時間で着く。30 分は、 $\frac{30}{60}$ 時間。

(2) 毎分 70 m で歩いた距離を x m とすると、毎分 90 m で歩いた距離は $(4000 - x)$ m

32 次の各問いに答えよ。

- (1) A 君が登山をした。登るときは毎時 4 km、下るときは毎時 6 km の速さで歩き、5 時間で往復したという。歩いた道のりは何 km か。
- (2) A, B 両地点間を往復するのに、行きは毎時 60 km の速さの電車に乗って行き、帰りは毎時 40 km の速さの自動車に乗って帰ってきたところ、帰りは行きよりも 2 時間多くかかった。A, B 両地点間の距離を求めよ。
- (3) ある人が家から 1800 m 離れた駅へ行くのに、一定の速さで歩き出した。30 分かけて、駅に着く予定であったが、途中で速さを変え毎分 90 m で歩いたので、予定より 6 分早く着いた。この人が毎分 90 m の速さで歩いた道のりを求めよ。

ポイント

● 速さに関する問題

距離 = 速さ × 時間

$$\text{時間} = \frac{\text{距離}}{\text{速さ}}$$

$$\text{速さ} = \frac{\text{距離}}{\text{時間}}$$

- 速さに関する問題では、距離を x km とおいて、時間について立式することが多い。

注 単位に注意する。

31(1)では「時間」に単位をそろえるので、 $30\text{分} = \frac{1}{2}\text{時間}$

(2)では、「m」に単位をそろえるので、 $4\text{km} = 4000\text{m}$ とする。

- 32(1) ふもとから頂上までを x km とする。
- 32(2) A, B 両地点間の距離を x km とする。
- 32(3) 予定していた速さは、 $1800 \div 30 = 60(\text{m}/\text{分})$

基本ワーク

33 例題 損益に関する問題

次の各問いに答えよ。

- (1) 仕入れ値段の 25% の利益を見込んで、万年筆 1 本の定価を 6000 円とした。この万年筆 1 本の仕入れ値段を求めよ。
- (2) ある商品に、原価の 4 割の利益を見込んで定価をつけた。この商品を、定価の 2 割引きで売っても 2640 円の利益がある。この商品の原価を求めよ。

考え方 (1) 仕入れ値段を x 円とすると、25% は 0.25 だから、 $(1+0.25)x=6000$
 (2) 原価を x 円とすると、定価は $(1+0.4)x$ 円、
 売価は $(1+0.4)(1-0.2)x$ 円、
 利益は $\{(1+0.4)(1-0.2)x - x\}$ 円となる。

34 次の各問いに答えよ。

- (1) 仕入れ値段の 3 割 5 分の利益を見込んで、セーターの定価を 6480 円とした。このセーターの仕入れ値段を求めよ。
- (2) ある品物を定価の 15% 引きで買って 1360 円払った。この品物の定価はいくらか。
- (3) 原価 6800 円の商品を、定価の 2 割引きで売ってもまだ 400 円の利益があるようにするには、定価をいくりにすればよいか。

35 次の各問いに答えよ。

- (1) 原価の 3 割の利益を見込んで定価をつけた商品を、定価の 1 割引きで売ったら 17 円の利益を得た。この商品の原価はいくらか。
- (2) 1 個の仕入れ値段が 400 円の商品 A をまとめて仕入れたところ、15% が不良品であった。不良品をすべて良品のみを売ったら、仕入れ総額の 19% の利益があった。良品 1 個の販売価格はいくらか。

ポイント

● 損益に関する問題

損益に関する問題でよく使われる関係式

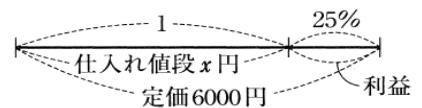
定価 = 原価 × (1 + 利益率)

売価 = 定価 × (1 - 割引率)

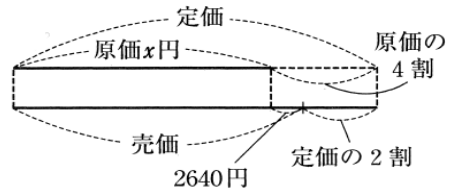
利益 = 売価 - 原価

損失 = 原価 - 売価

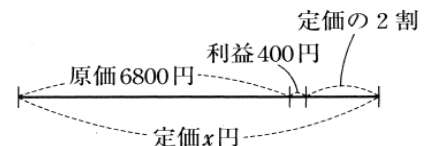
● 33(1)で、



● 33(2)で、



● 34(3)で、



基本ワーク

36 例題 濃度に関する問題

7%の食塩水 500 g に 12%の食塩水を混ぜて、10%の食塩水を作りたい。12%の食塩水を何 g 混ぜればよいか。

考え方

	7%	12%	10%
食塩水(g)	500 g	x g	$(500+x)$ g
食塩(g)	$500 \times \frac{7}{100}$	$\frac{12}{100} x$	$\frac{10}{100} (500+x)$

12%の食塩水を x g 混ぜるとすると、上の表ができる。
食塩の量についての方程式を作る。

37 次の各問いに答えよ。

- 12%の食塩水 200 g に 4%の食塩水を混ぜて、6%の食塩水を作りたい。4%の食塩水を何 g 混ぜればよいか。
- 12%の食塩水 630 g に水を混ぜて7%の食塩水を作りたい。水を何 g 混ぜればよいか。
- 8%の食塩水が 300 g ある。この食塩水から水を蒸発させて12%の食塩水を作りたい。水を何 g 蒸発させればよいか。

38 例題 比を使った問題

ある数を4倍して6をひいた数ともとの数との比は3:1であるという。ある数を求めよ。

考え方

ある数を x とすると、 $(4x-6):x=3:1$
外項の積と内項の積は等しいから、
 $(4x-6) \times 1 = x \times 3$

39 次の各問いに答えよ。

- ある数の3倍に14を加えた数ともとの数との比は7:2であるという。ある数を求めよ。
- 男女の人数が同数のクラブがある。男子が3人増え、女子が3人減ったので、男女の比率は3:1となった。このクラブのはじめの人数は何人か。

ポイント

● 濃度に関する問題

濃度に関する問題では、次の関係式が使われる。

$$\text{濃度}(\%) = \frac{\text{食塩の量}}{\text{食塩水の量}} \times 100$$

食塩の量

$$= \text{食塩水の量} \times \frac{\text{濃度}(\%)}{100}$$

- 食塩の量について立式して解く問題が多い。

ポイント

● 比例式の性質

$$a:b=c:d$$

↓

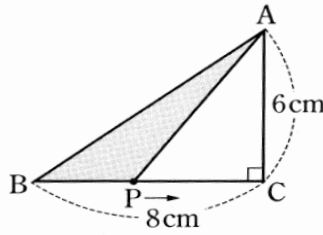
$$ad=bc$$

$$\frac{a}{c} = \frac{b}{d}$$

基本ワーク

40 例題 図形、動点に関する問題

右の図のような直角三角形ABCで、点Pは辺BC上をBからCまで毎秒2cmの速さで動く。三角形ABPの面積が 18cm^2 になるのは、PがBを出発してから何秒後か。



考え方 x 秒後の三角形ABPの面積は、 $\frac{1}{2} \times 2x \times 6$ である。

ポイント

● 動点に関する問題

x 秒後の各部分の長さを x の式で表し、面積について方程式を作る。

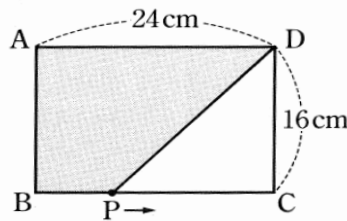
● よく使われる面積の公式

三角形の面積 $= \frac{1}{2} \times \text{底辺} \times \text{高さ}$

台形の面積

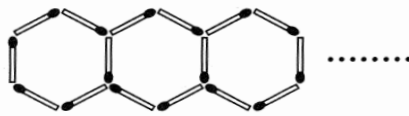
$= \frac{1}{2} \times (\text{上底} + \text{下底}) \times \text{高さ}$

41 右の図のような長方形ABCDで、点Pは辺BC上をBからCまで毎秒3cmの速さで動く。台形ABPDの面積が 240cm^2 になるのは、PがBを出発してから何秒後か。



42 例題 規則性に関する問題

右の図のように、マッチ棒を並べて正六角形を左から順に作っていく。次の各問いに答えよ。



- (1) 正六角形を5個作る時、マッチ棒は何本必要か。
- (2) マッチ棒を61本使う時、正六角形は何個できるか。

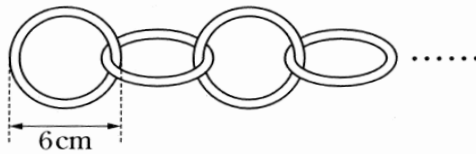
考え方 はじめに1本あれば、5本増やすごとに正六角形は1個できる。(P.50参照)

ポイント

● 規則性に関する問題

42(2)のような問題は、正六角形を x 個作る時のマッチ棒の本数を x の式で表せばよい。

43 太さ0.5cmの管を使って、直径6cmの輪を作り、右の図のようにつなげて、くさりを作る。次の各問いに答えよ。



- (1) 輪を5個つなげるとき、くさりの長さは何cmか。
- (2) くさりの長さを66cmにするには、輪は何個必要か。

章のまとめ

① 次の式で、ア、イの変形に、等式のどのような性質を使っているか。

$$2x+5=4x-9 \xrightarrow{\text{ア}} 2x-4x=-9-5 \xrightarrow{\text{イ}} -2x=-14 \rightarrow x=7$$

② 次の方程式を解け。

(1) $x+4=10$

(2) $x-8=-5$

(3) $-3x=4$

(4) $\frac{2}{3}x=14$

(5) $2x+5=7$

(6) $11-4x=-9$

(7) $6x=x+10$

(8) $3x-14=-4x$

(9) $6x-5=4x+3$

(10) $5x+3=2x-7$

(11) $3-4x=x+23$

(12) $x+3x-4=12$

③ 次の方程式を解け。

(1) $3x-(2-x)=2$

(2) $-2(3x-7)=-x-6$

(3) $2x-3(x+1)=2$

(4) $3(x-4)=-5x+12$

(5) $6(5-2x)+8(x-4)=0$

(6) $4x-3=2(3x+1)+5$

④ 次の方程式を解け。

(1) $0.6x+0.3=0.5x$

(2) $1.2x-3=1.8-0.4x$

(3) $\frac{1}{3}x+4=\frac{1}{2}x$

(4) $\frac{5}{6}x-\frac{1}{2}=\frac{1}{3}x-\frac{3}{4}$

(5) $x-\frac{x-2}{2}=5$

(6) $\frac{2x-5}{3}=\frac{x+1}{2}$

⑤ 次の各問いに答えよ。

(1) x についての方程式 $4x-9=x+a$ の解が 2 のとき、 a の値を求めよ。

(2) x についての方程式 $ax-3=2x+a$ の解が -4 のとき、 a の値を求めよ。

(3) x についての方程式 $\frac{x}{2}+a=ax+3$ の解が 3 のとき、 a の値を求めよ。

- ⑥ 1個120円のなしと、1個150円のりんごを合わせて10個買い、260円のかごに入れてもらったときの代金は1550円であった。なしは何個買ったか。
- ⑦ 学級の生徒に西洋紙を1人に3枚ずつ配ったら、40枚余った。それでもう2枚ずつ配っていったら、6枚不足した。生徒の人数を求めよ。
- ⑧ 現在母は47歳、長女は21歳、次女は18歳である。2人の子供の年齢の和が母の年齢と同じになるのは、今から何年後か。
- ⑨ 男女合わせて35人のクラスで国語のテストを行ったところ、男子の平均点は63点、女子の平均点は70点であった。また、男女合わせた全体の平均点は66点であった。このクラスの女子の人数を求めよ。
- ⑩ 兄と弟が地点AからBまで行くのに、兄は自転車で毎時12km、弟は歩いて毎時3kmの速さで同時に出発したところ、兄のほうが2時間早くBに着いた。地点AからBまでの距離を求めよ。
- ⑪ 原価に500円の利益を見込んで定価をつけた商品を、定価の20%引きで売ったところ、原価に対して5%の利益があった。この商品の原価を求めよ。
- ⑫ 12%の食塩水が300gある。この食塩水に水を加えて、10%の食塩水をつくるには、水を何g加えればよいか。
- ⑬ 右はある月のカレンダーである。図のように囲んだとき、囲まれた数の和が110になるのは、中央の数字が何曜日のときか。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30